

シグマ研究委員会 核データ評価W.G. 中重核核データS.W.G.  
1984年度第3回会合議事録

日時： 1984年12月14日 10:00~12:30

場所： 原研本部第5会議室

出席者： 菊池, 浅見, 杉, 中川(原研), 飯島, 川合, 吉田(NAIG), 八谷(三井造船), 山越(船研)

議事

1) JENDL-2のStatus Review (II)

- 比較プロット図集により, 再度status reviewを行った。
- 個別の結果は別紙に記すが, 一般論としては
  - a)  $(n, 2n)$ ,  $(n, 3n)$ ,  $(n, p)$ ,  $(n, np)$ ,  $(n, \alpha)$ ,  $(n, n\alpha)$  は必ず評価し抜けないようにする。
  - b) 全断面積は実験値のある場合は, それを採用する。  
非分離共鳴領域のstructureもfollowする。
  - c)  $r$ -productionとの整合性をとる。
- このstatus reviewの結果は, 同日午後開催された核データ専門部会全体会合で承認された。

次回会合： 12月25日にガス生成S.W.Gと合同でGNASH関係の検討を行う。